



学校だより

令和6年2月9日発行
NO. 10

よりよい学校づくりに向けて

～令和5年度 学校評価について～

一年間の反省をし、来年度の計画を立てる時期に入りました。児童、保護者、教職員で、前期と後期の2回の学校評価アンケートを実施しました。保護者の皆様には、ご回答・ご記入へのご協力ありがとうございました。アンケート結果の概要と来年度に向けて検討・改善していく事項を次にまとめましたのでご報告いたします。

1 アンケート結果の概要

こんなことを思っているみたい



<児童>

- 学校は楽しいよ
- 元気に遊んだり、運動したりしているよ
- 勉強もよくわかるよ
- 宿題や家庭学習もきちんと取り組んでいるよ
- けがをしないように、安全に気をつけているよ
- いじわるはしていないし、誰とでも仲良くしているよ
- 本は嫌いじゃないけど、自分からあまり読まないかな
- 礼儀正しい言葉遣いができるようになりたいな

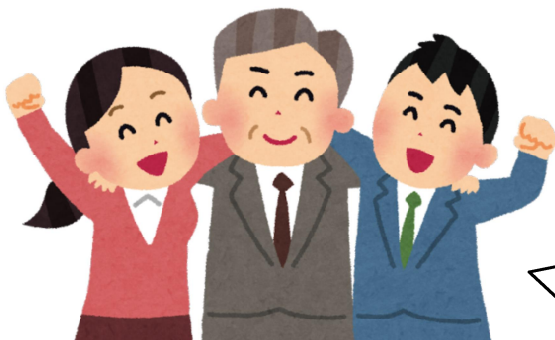
<保護者>

- 子どもたちは元気に学校に通い、学んでいるよ
- 家で学校のことをよく話してくれるよ
- 全校児童が一つになって、仲良く過ごしているな
- 明るく、元気な挨拶ができるようになってきたね
- 一人一人に合わせて教えてもらえるのがいいところだね
- もう少し、家でも本を読んでほしいな
- お手伝いを、家でもしてくれると嬉しいな
- 勉強を頑張してほしいな



<教職員>

- 子どもたちは仲良く、落ち着いて生活しているな
- どの子も自分の目標に向かって頑張ろうとしているよ
- 行事や児童会活動では、少ない人数でも、自分の役割を考え一生懸命に活動しているな
- 地域や保護者の皆さんは、とても協力的で心強いな
- ICT機器を活用して、効果的に指導することができるな
- 自分の健康や安全に気を配って生活してほしいな
- 子どもたちがいろいろな考えに触れ、考えを広げたり深めたりする機会を、何とかつくれたりかな
- 今の自分を振り返ったり、将来の自分のことを考えたりしながら、前向きに行動できる子になってほしいな



2 学校改善に向けて

(1) 学校経営に関わって

〈連携先〉 時勢や本校の実態に合った 活動計画の作成

①社会情勢や本校の実態に合わせて、教育課程やスクールカレンダーを見直し、改善を進めます。

- ◇子どもたちに無理がなく、バランスのよい学校スケジュールを作成します。
- ◇授業時数や行事の在り方を見直します。(※教科書改訂、耐震工事、児童数の減少などの実態を考慮しながら、内容や取組方法を検討し、無理なく安全に活動できるよう改善します。)
- ◇ICT活用機会増加に伴って、情報モラルの指導を計画的に実施します。(3学期は、高学年でSNS等のトラブルに関わる指導を行っています。)



②子どもたちが学校へ安全に安心して通えるように、危機管理に努めます。

- ◇もしもの時に、すぐ行動できるように、危機管理マニュアルの整備と職員意識向上を図ります。
- ◇毎月の「いじめ対策会議」や放課後打ち合わせの中で、子どもたちの様子を職員で交流し、常に情報を共有します。
- ◇施設の維持管理や備品の補充・整理整頓に努め、安全で快適な環境づくりに努めます。

③市民委員会、PTAとのよりよい連携の在り方を考えます。

- ◇学校行事や地域行事での持続可能な連携体制の構築に向けて、引き続き打ち合わせをしていきます。(地域連携計画の作成など)



④すすんで学び自らの力を高め、効果的な指導方法を身につけます。

- ◇学習指導や生活指導の効果的な方法について、お互いの経験や知識を出し合いながら教職員みんなで学ぶ機会を設定します。
- ◇子どもたちのICT活用を支えるために、自らもICTに強くなるよう、今後も重点を置いて研修を進めます。

⑤自らが元気で、明るく子どもたちに接することができるように、働き方改革を進めます。

- ◇業務内容を整理したり、平準化を図ったりすることで、効率的かつ効果的に仕事を進めます。
- ◇声を掛け合い、助け合いながら、協力して仕事を進めます。
- ◇改善に向けて話し合いの機会を設定します。(1月12日実施)



(2) 児童への指導に関わって

〈連携先〉 多様な考えに触れ 自己を見つめ直すことで 可能性を伸ばす

①お互いの考えを交流したり、自分の行動を振り返ったりする機会を大切にします。

- ◇感想や意見を伝え合う機会を増やすことで、話を聞き取る力や自己を表現する力を高めます。
- ◇一人一人のよさや得意なことを認め励まし合うことで、自信をもたせます。
- ◇活動後に振り返りの時間を取り、自分の行動を見直すことで、次回の活動につなげます。

②学校生活のルールを守り、進んで正しい行動を取ろうとする態度を育成します。

- ◇雨ふ小4か条を定期的に振り返り、自分の達成度を把握するよう働きかけます。
- ◇情報モラルの指導内容や学校いじめ防止基本方針の理解を促し、常に正しい行動を取ることができるよう指導します。
- ◇今の自分をしっかりと見つめ、更により自分の姿をイメージして行動できる子の育成に努めます。



③学力と体力の向上を目指します。

- ◇子どもたちの様子を観察し、個に応じた指導を心がけます。(スモールステップ、反復練習、補充的な学習など)
- ◇漢字や計算などの基礎基本の確実な定着を目指します。
- ◇算数用語の活用、条件に合わせた適切な表現方法での記述を意識して指導します。(全国学力・学習状況調査の結果より)
- ◇走力、持久力、巧緻性の向上を目指します。(準備体操に取り入れる、定期的な体力づくりの実施など)(全国体力、運動能力、運動習慣等調査の結果より)
- ◇子どもたちが本を手にする機会や時間を増やし、読書の楽しさを感じられるよう指導します。



④健康的な生活の仕方や家庭での望ましい生活習慣について指導します。

- ◇自分の健康に関心を持ち、体調の自己管理ができるように働きかけます。(自分の体は自分で守る)
- ◇家庭での望ましい生活習慣について文書等で発信します。(学習時間、運動時間や内容、就寝・起床時間、メディアに触れる時間、お手伝いの時間など)

